



◆西脇 康 議員

農業問題の今後は

町長 計画を持って実施

農業・農村は、国土の保全、水源のかん養、自然環境の保全。景観等の多面的機能を有しており、その利益は広く町民の皆様が享受している。

問 田畑の耕作放棄地をなくす取組は、循環の取り組みも行っている。

答 農業委員等を中心に地域での農地に係る話し合いを行い、多面的機能支払交付金や農地バンクを活用し、発生防止解消に取り組む。

問 ゲリラ豪雨・台風が増加する中、導水路の浸食崩壊の恐れがある箇所の対策は、

答 土地改良区と連携して点検管理等を行っている。

問 河川からの取水・止水ゲート周辺の漏水は、

答 農産物を販売する場所は、養老公園キャンプセスターへの販売や、IC周辺の事業所での販売ができるよう協議する。

問 地域の協同活動に支援を行い、計画をもって実施し、大規模な整備や改修は、土地改良事業において取り組む。

問 農業者の負担を減らす取り組みは、

答 国が肥料高騰対策として、肥料コスト上昇分の7割を補填する。畜産農家との資源

問 今後整備地区の畑から、田の地目変更は、

答 新規の開田は、現制度上では難しい。



◆清水由美子 議員

盟約・地域連携の今後は

町長 交流・連携へと発展させたい

令和4年から続く鹿児島市との今後の交流についてと関係人口・観光人口増に向けた地域交流・連携の一案を提案する。

問 頌徳慰霊祭に合わせた当町と鹿児島との交流は、現時点では、教育委員会を通じたものである。今後いずれかの市町と盟約を結ぶ考えはあるか。

答 定期的に行っている鹿児島市、ドイツ・バートゾーデン市との関わりも大切にしたい。西美濃広域連携推進協議会や西美濃・北伊勢観光サミットなど、広域で連携した取組も実施している。今後も、お互いに高めあえる、メリットを共有できる機会には、他市町との交流・連携へと発展させたい。

問 盟約は関係人口増につながるのではないか。

答 幅広い交流を重ねる事で、関係人口創出に繋がるきっかけとなりうる。

問 当町のシンボル「養老の滝」は、葛飾北斎が描いた滝の一つ。同様の繋がりをもち郡上市との交流、連携は関係人口・観光人口増に繋がるものではないか。



木曽路ノ奥阿弥陀ヶ滝



美濃国養老の滝



◆早崎百合子 議員

空き家対策は

町長 国・県等の動向を注視していく

有用な対策と共に移住、定住への促進策など町独自の条例制定施策の検討を。

問 現在、把握している空き家の戸数と、そのデータの管理と把握は、

答 令和3年に対象家屋を改めて調査し、324戸を認定。地図情報をデータベース化して把握している。

問 空き家取り壊しの事例は、

答 所有者が隣接する道路の進行者への安全を配慮し、町老朽危険空き家除却事業補助金を活用して取り壊した。



空き家対策の補助金

あれからどうなったんやぁ〜 シリーズ 104

このシリーズは、過去の定例会（今回は令和3年9月議会）での一般質問に関して、その後の状況をお知らせするものです。

問 「中学校 ジェンダーレス 制服の導入は」

こうなりました

高田中学校では、昨年度、新制服（ジェンダーレス制服）の採用を決定しました。もうご覧になった方も多いのではないのでしょうか。

制服の見直しにおいては、生徒が「ジェンダーフリー」について学び、多様性を認め合い、互いを尊重し合う意識を高めていくことができるようにしました。また、保護者全員にもアンケートを配付し、新制服導入について様々な観点からの意見も求めました。

このように、生徒の思いや保護者・地域住民の願いも踏まえて何度も検討し、合意形成を図りました。

高田中学校では、昨年度、校則の見直しについても進めています。制服や校則の見直しを通して、「自分たち（生徒）で日常を見つめ、よりよい生活について考え、自分たちで決める。決めたことは、自分たちで責任をもって守る。」という文化を創造し、よりよい学校生活をめざし、話し合いを継続しています。

